

精神分析的ロール・プレイングによる事例検討の方法論的分析

新潟医療福祉大学社会福祉学科・伊東正裕

【背景】

心理劇を日本に紹介した外林大作は、その後心理劇の技法であるロール・プレイングを中心として、独自の研究を開展させた。外林の後継者である川幡政道は、外林の方法を「精神分析的ロール・プレイング」（以下ロール・プレイングをRPと表記）と呼び、いわゆるロールプレイとは異なるその特徴を明確化した。川幡によれば精神分析的RPとは、「過去に取り込まれ、捉われ、再演している人に対し、演劇的手法を用いて無意識に排除された過去のドラマを再現し、そこに潜在する無意識の空想を第三者の目を通して洞察することによって、過去から解放しようとする」心理劇の一方法である¹⁾ (p.5)。しかしその理論や方法は一般に広く理解されているとは言えず、心理劇の研究者・実践者の間でも、未だ十分に検討されてはいない。そこで本研究では、事例検討を中心とした川幡の論文を取り上げ、精神分析的RPによる事例検討の方法論上の特徴について検討する。

【方法】

川幡の近著¹⁾に掲載された5編の事例検討の論文(第3～7章)について、その論理展開や事例報告の構造を検討し、精神分析的RPによる事例検討の方法上の特徴を抽出する。

【結果】

各論文の表題および副題は、以下のとおりである。

- ①「精神分析的RP—引きこもり少年の母親のRP」
- ②「役割と性格:性格は変えられるか—分離不安の子どもの母親のRP」
- ③「精神疾患は個人の病理か関係の病理か—片づけられない女性の姉のRP」
- ④「身体と象徴形成—癖の意味を知りたいという女性のRP」
- ⑤「無意識の願望を知る技法—狼になりたいという青年のRP」

①では、精神分析的RPの基本的な考え方を解説した上で、参加者の提出した引きこもりの若者のテーマを取り上げ、「母親と子どもの間でどんなことが起きているのか」を検討する目的でRPを行った事例が報告される。

②は、「性格は変えられるか」というテーマで行われたRPのワーク・ショップに基づき、テーマに沿った理論的な解説と実際のRPの記録で構成されている。RPは、保育園で親と別れるときに泣き出してしまいう娘と母親との関係を具体的に理解するために行われたものである。

③は、「一般に個人の病理と見なされているものが実は関係の病理であり、関係を変えることによって変化する役割の

病理である」という理論的立場に立ち、片づけられない女性の事例を取り上げ、RPを行って検討したものである。

④では、身体像と対象の知覚についての幼児の絵を通した解説と、象徴言語・象徴形成・癖についての理論的な考察の後、「手遊びをする意味を知りたい」という参加者からの問題提起で行われたRPの事例が詳細に分析されている。

⑤の前半には、症状・心理治療・夢に関する川幡の考えが、フロイトやモレノを参照しつつ解説される。後半は「主役を演じるとするならどんな役割を演じたいか」という問いに対する参加者の答えに基づいて場面を設定し、即興的に演じられたドラマを精神分析的RPの観点から分析し、演者の願望を明らかにしようとした事例の報告である。

5編の論文とも、初めにそれぞれのテーマについて、精神分析を背景とした理論的な考察がかなりの紙数を割いて述べられ、続いて実際に演じられたRPの様子が事例として報告され、川幡の理論的枠組みに沿って監督あるいはスーパーバイザーの立場から、解釈と考察がなされている。

【考察】

以上のような事例報告の構造は、精神分析的RPによる事例検討の方法上の特徴と関連していると考えられる。各論文を整理すると、精神分析的RPによる事例検討は、以下のような方法上の特徴を持っている。

- 1) 人間の現象を理解するための根本理論は精神分析にあると考え、RPもその観点から実施、解釈される。
- 2) 問題は、ある個人に起きる特殊なことではなく、誰にでも起こり得る一般的なこと、役割関係の問題と捉える。
- 3) 事例は参加者から提起してもらうが、ひとたび取り上げたのちは、可能な限り一般的、普遍的な問題として扱う。
- 4) RPは直接治療的効果を狙って行うのではなく、関係を理解し、検証するための実例として実施される。
- 5) 事例検討の方法としてもっとも際立った特徴は、川幡が帰納推論的に理論を構築しようとするのではなく、一定の理論的枠組みをもって、生じた各現象を理解しようとする点にある。川幡は、理論と観察の関係について「一般に現象を理解するためには、モデルとか図式とか理論などと呼ばれている概念体系が必要である」¹⁾ (p.36)と述べている。

【結論】

精神分析的RPを用いて事例検討を行うに際しては、精神分析及び役割に関する理論と上記の方法上の特徴を十分に理解した上で、RPディレクターとしてのトレーニングを積み重ねること、適用を厳密に吟味することが必要であろう。

【文献】

- 1) 川幡政道. 過去の再演を越えて: 精神分析的ロール・プレイング. 春風社, 2013.